

片岡直樹教授退任記念号の発刊によせて

片岡直樹教授は、2023年3月に東京経済大学を定年退職されました。片岡先生は、2000年の現代法学部開設に際し本学に着任され、以来23年間にわたり、専任教員として現代法学部・大学院現代法学研究科における教育・研究活動に従事されました。現代法学部は、企業活動におけるコンプライアンスの重視、裁判員制度導入に見られる一般市民の司法参加といった、市民のための法学教育が必要とされる時代環境に対応して、現代的な社会課題の発見・解決に資するような法学教育を掲げて発足しました。その際、特に「消費者」「環境」「福祉」の3分野に関わる法教育を重視しました。片岡先生は、学部開設以来、本学部、大学院での環境法分野での教育・研究活動を担う中軸教員として、大きな寄与をなされました。

片岡先生は、東京外国語大学の中国語学科を卒業後、早稲田大学法学研究科で民事法を専攻され、法学博士号を取得されており、中国の環境法についての多くの研究業績があります。2007年から2008年にかけては、中国の対外経済貿易大学で派遣交換教員として教育・研究活動に従事しました。また東日本大震災後は、特に福島原発事故に関し、精力的に現地フィールドワークを重ねて、原発事故と復興過程に関する研究を発表されてきました。教育面では、本学部の「被害救済と法」「国際環境法」「演習」などの授業を担当されました。学部のゼミ発表会では、先生の優れた指導によって、ゼミ生たちの質の高い発表が行われました。先生はまた、学部、大学院、および全学の行政面でも多大の貢献があり、学部教務主任、大学院現代法学研究科委員長、エコキャンパス推進委員会委員長、研究委員会委員長など、多くの役職を歴任されました。

片岡先生は、現代法学部の開設以来の歩みを共にされ、研究・教育・行政面で、学部教員でも最も多くの貢献をされた方の一人です。その事績をたたえ、心より感謝の言葉を呈したいと思います。

先生は、ご退職の直前にも、熱心にフィールドワークに取り組まれておりました。いつも若々しい先生の風貌を想起しつつ、今後ますます、ご活躍されることを祈念いたします。

2023年12月

現代法学部長 藤原 修